



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月5日

上場会社名 中部証券金融株式会社

上場取引所 名

コード番号 8513 URL <http://www.chusyokin.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 湯本 崇雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	697	0.9	123	38.8	174	28.1	123	37.5
25年3月期第3四半期	691	3.7	89	10.8	136	23.2	89	56.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.04	—
25年3月期第3四半期	22.56	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	51,937	3,747	7.2
25年3月期	53,381	4,177	7.8

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 3,747百万円 25年3月期 4,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	910	△1.9	130	△1.4	200	△10.6	130	△8.3	32.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,000,000 株	25年3月期	4,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	29,504 株	25年3月期	28,761 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,970,798 株	25年3月期3Q	3,972,619 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月間)のわが国経済は、政府・日銀の経済・金融政策等から円安並びに株高が進行し、景気は緩やかに回復へと向かいました。今後も堅調な企業業績等を背景に景気は回復基調を維持することが期待されます。

株式市況についてみますと、12,135円で始まった日経平均株価は、当初米国における量的金融緩和の縮小観測から調整の動きが強まったものの、その後は円安の進行や企業の業績回復、消費の持ち直し、更には米国の金融政策を巡る不透明感の解消から株価は上昇し、最終的には16,291円で取引を終了しました。この間、当第3四半期末の2市場信用取引残高は3兆663億円と、前事業年度末(2兆4,179億円)に比べ26.8%の増加となりました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金は貸借取引貸付金が増加した一方で金融商品取引業者向け及び顧客向け一般貸付金が減少したため、期中平均残高は47億円と、前年同四半期(49億円)比2億円の減少となりました。

貸付金以外の運用面をみますと、有価証券投資の期中平均残高は403億円と、前年同四半期(406億円)比2億円の減少となりました。また、現金担保付きレポ取引による借入有価証券代り金の期中平均残高は、前年同四半期とほぼ変わらずの51億円となりました。

こうした運用状況の下、当第3四半期の営業収益は6億97百万円と有価証券利息配当金の増収を主因として前年同四半期(6億91百万円)比6百万円の増収となりました。営業費用は支払利息の減少により1億94百万円と、前年同四半期(2億11百万円)比16百万円減少しました。また、一般管理費は3億79百万円となり、前年同四半期(3億91百万円)比12百万円減少しました。

この結果、当第3四半期の営業利益は1億23百万円と、前年同四半期(89百万円)比34百万円の増益となりました。また、これに営業外損益を加減算した経常利益は1億74百万円と、前年同四半期(1億36百万円)比38百万円の増益となりました。最終的に特別損失と税金費用を減算した四半期純利益は1億23百万円と、前年同四半期(89百万円)比33百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、投資有価証券の減少を主な要因として519億37百万円と、前事業年度末に比べ14億43百万円の減少となりました。負債はコールマネー及び短期借入金の減少並びに未払金の増加を主な要因として481億90百万円と、前事業年度末に比べ10億13百万円の減少となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が減少したことにより37億47百万円と、前事業年度末に比べ4億29百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、堅調な企業業績を背景に今後も景気回復が続くことが期待されます。このような状況下において、当社は、中部地区における証券金融の専門機関として、引き続き証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切かつ機動的に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、前回(平成25年4月30日)公表の予想値から変更しておりません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	720,556	676,095
貸借取引貸付金	826,188	1,144,047
一般貸付金	3,828,303	3,569,125
貸借取引貸付有価証券	10,352	7,622
借入有価証券代り金	5,142,586	5,042,159
未収入金	3,479,515	8,323,017
その他	180,352	138,893
流動資産合計	14,187,855	18,900,962
固定資産		
有形固定資産	47,661	47,147
無形固定資産	67,686	29,115
投資その他の資産		
投資有価証券	38,698,433	32,324,955
その他	399,476	635,791
貸倒引当金	△19,610	—
投資その他の資産合計	39,078,299	32,960,747
固定資産合計	39,193,648	33,037,009
資産合計	53,381,504	51,937,972
負債の部		
流動負債		
コールマネー	7,500,000	7,000,000
短期借入金	37,100,000	34,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	2,000,000
未払金	1,676,428	3,670,926
未払法人税等	21,839	4,390
貸付有価証券代り金	10,352	7,622
担保金	130,000	150,000
預り金	7,300	8,931
預り有価証券	10,352	7,622
賞与引当金	19,593	9,970
役員賞与引当金	7,200	4,425
その他	86,564	70,623
流動負債合計	48,569,633	47,834,511
固定負債		
繰延税金負債	472,754	192,202
退職給付引当金	119,646	121,722
役員退職慰労引当金	41,944	41,944
固定負債合計	634,344	355,868
負債合計	49,203,977	48,190,379

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	191,000	191,000
圧縮記帳積立金	18,587	18,384
別途積立金	1,530,000	1,530,000
繰越利益剰余金	1,225,614	1,313,337
利益剰余金合計	3,015,201	3,102,722
自己株式	△6,558	△6,764
株主資本合計	3,208,643	3,295,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	968,882	451,634
評価・換算差額等合計	968,882	451,634
純資産合計	4,177,526	3,747,592
負債純資産合計	53,381,504	51,937,972

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益		
貸付金利息	100,202	90,078
借入有価証券代り金利息	3,446	2,361
受取手数料	4,638	6,829
有価証券貸付料	997	859
有価証券利息配当金	582,340	597,521
営業収益合計	691,624	697,651
営業費用		
支払利息	145,918	130,508
支払手数料	63,832	62,951
有価証券借入料	1,306	1,145
営業費用合計	211,058	194,606
営業総利益	480,566	503,045
一般管理費	391,436	379,315
営業利益	89,129	123,730
営業外収益		
投資有価証券売却益	1,998,580	2,203,294
その他	2,118	1,958
営業外収益合計	2,000,698	2,205,252
営業外費用		
投資有価証券売却損	624,763	1,460,580
デリバティブ取引運用損	1,312,171	685,888
その他	16,357	7,677
営業外費用合計	1,953,292	2,154,145
経常利益	136,535	174,837
特別損失		
固定資産除却損	—	5
特別損失合計	—	5
税引前四半期純利益	136,535	174,831
法人税、住民税及び事業税	38,793	42,285
法人税等調整額	8,121	9,284
法人税等合計	46,915	51,570
四半期純利益	89,620	123,261

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、有価証券を担保とした貸付業務及び有価証券運用業務並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。